

県北の家庭教育応援企業通信

発行所

福島県教育庁県北教育事務所

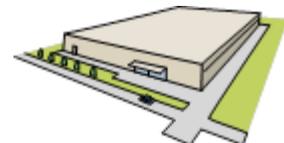
福島市杉妻町2番16号

電話 024-521-2814

家庭教育応援企業に申込みいただきありがとうございました

新たに、根本建設株式会社、新広建設株式会社、株式会社ももがある、有限会社やない製麺、福島ルビコン株式会社、福島エナメル工業株式会社、株式会社渡辺機械、有限会社櫻井運送、株式会社協栄製作所様から申し込みをいただき、家庭教育応援企業が109社になりました。今後とも、家庭教育の推進と子どもたちの健全育成のためお力添えをいただきますよう、お願いいたします。

- <福島市> 福島ヤクルト販売株式会社、大槻電設工業株式会社、福島信用金庫、佐藤工業株式会社、朝日システム株式会社、東開工業株式会社、社会医療法人秀公会、株式会社福島銀行、株式会社ダイユーエイト、株式会社大丸工務店、株式会社東邦銀行、株式会社山川印刷所、株式会社日進堂印刷所、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会、第一温調工業株式会社、協和ポーリング株式会社、株式会社トーネット、株式会社トーネットコーポレーション、株式会社三本杉シオテック、株式会社オノヤスポーツ、株式会社日新土建、株式会社クリーンテック、株式会社環境分析研究所、株式会社こんの、一般財団法人大原綜合病院、株式会社阿部紙工、株式会社光休設備工業所、シオヤユニテック株式会社、福島酸素株式会社、株式会社クリフ、内池醸造株式会社、株式会社アポロガス、社会福祉法人けやきの村、福島民友新聞株式会社、株式会社ジェンツ、生活協同組合コープふくしま、渡辺エンジニアリング株式会社、株式会社福島民報社、福島ガス株式会社、社会福祉法人陽光会、きらり健康生活協同組合、北芝電機株式会社、アース株式会社、株式会社エイティック、有限会社西坂製作所、福島カラー印刷株式会社、福島鋅金工業株式会社、有限会社佐戸川ダクト鋅金工業所、株式会社サン・ベンディング福島、株式会社倉島商店、東北電力株式会社福島支店、イーコンセプト株式会社福島支店、株式会社モリヨシ技研、社会福祉法人ライフ・タイム・福島、コバックス株式会社、有限会社テレサ、株式会社ライフロール、渋谷レックス株式会社、中央設備株式会社、協三工業株式会社、株式会社古俣工務店、株式会社福島製作所、ミライズ株式会社、株式会社キスキ株式会社中データ福島事業所、株式会社高槻、株式会社エー水技研、**新広建設株式会社、株式会社ももがある、有限会社やない製麺、福島エナメル工業株式会社、有限会社櫻井運送**
- <川俣町> 株式会社川俣町農業振興公社、株式会社小林、株式会社菅田、有限会社大善自動車整備工場、**株式会社渡辺機械**
- <伊達市> 富士通アイソテック株式会社、公益財団法人仁泉会、株式会社ナプロアース、社会福祉法人慈仁会、社会福祉法人信達福祉会、三和石油ガス株式会社、株式会社新栄製作所
- <桑折町> 福興産業株式会社、曙プレーキ福島製造株式会社、株式会社三栄精機製作所、渋谷建設株式会社、**根本建設株式会社**
- <国見町> 公立藤田総合病院、株式会社国見メディアデバイス、株式会社荏原風力機械国見工場、有限会社斎藤建設
- <二本松市> 株式会社丸や運送、二本松信用金庫、医療法人辰星会、株式会社オウジ、株式会社野地組、人気酒造株式会社、**福島ルビコン株式会社、株式会社協栄製作所**
- <大玉村> 株式会社三和製作所、株式会社富士ピー・エス東北工場、パーフェクトン株式会社
- <本宮市> アルス株式会社、株式会社光大産業、東北協同乳業株式会社、株式会社イワキ、株式会社マインド



企業の皆様に家庭教育を応援していただいています

企業の皆様に取り組んでいただいているのは、「職場の家庭教育推進」「生活習慣向上の取組」「学校行事への参加促進」「職場見学・体験の実施」「地域行事への協力・支援」などです。

株式会社モリヨシ技研（福島市）、根本建設株式会社（桑折町）、株式会社福島銀行（福島市）の取組を紹介します。

株式会社 モリヨシ技研

○家族手当の拡充

〔取組内容〕

子育てしやすい職場環境を目指し、家族手当（扶養配偶者、18才未満の子供）の拡充に取り組んでいます。

本年度は昨年度に実施した拡充を更に充実させて、家庭教育の支援を行っています。

家庭の充実があってこそ安心して仕事に取り組めるものであり、悩みごとのない家庭環境は、職場の安全にもつながると考えています。



根本建設 株式会社

○企業見学会の実施

〔取組内容〕

福島県立福島明成高等学校の生徒に、弊社が携わっている工事現場の見学をしていただきました。工事現場内で間近に工事の様子を見学することにより、建設業への関心と意欲を高めるとともに、将来に向けて、建設業の実態や正しい知識を持っていただくことを目的としています。

〔内容〕

日時：平成29年8月1日(火)

参加者：福島明成高等学校 生徒3名

場所：3カ所の現場にて見学会を実施



家庭教育応援企業の取組をお知らせください

家庭教育を充実させていくためには、家庭や地域だけでなく、企業の取組の推進が益々求められています。各社の素晴らしい取組を発信し、広く紹介して参ります。随時受け付けておりますので、家庭教育のより一層の充実のため、ぜひ、取組の様子を御報告ください。

株式会社 福島銀行

◆【キッズワークショップカーニバルinふくしま2017への出展】

〔取組内容〕

キッズデザイン協議会と福島市のこむこむが主催するイベントへ出展し、銀行やお金に関するワークショップを開催した。

内容：スタンプラリー形式で、お金のクイズや模擬一億円の持ち上げ、銀行の仕組みなどを学ぶ。

開催日：29年3月11日、12日

結果：1億円や硬貨の麻袋の持ち上げに挑戦し、お金の重さを体感してもらった。銀行を通じたお金の流れについて楽しく学んでいた。

対象：年齢制限なし（主に小学校低学年が参加）

参加人数：409名



◆【福島市市民活動サポートセンター主催「親子で学ぼう!お金の仕組み」への参加】

〔取組内容〕

福島市市民活動サポートセンターが開催する実践講座「親子で学ぼう!お金の仕組み」に講師として参加。

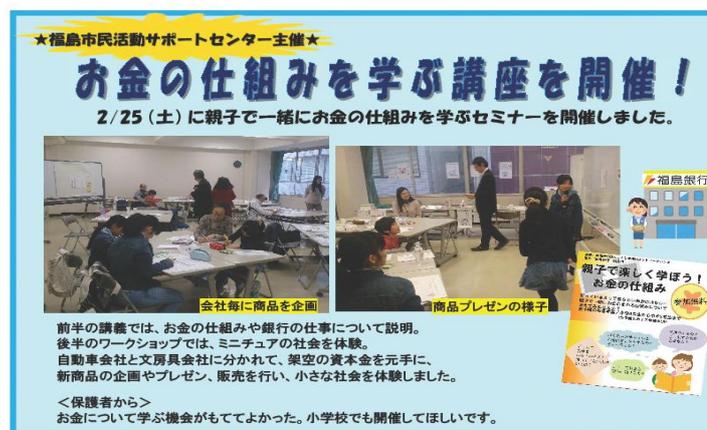
内容：お金の仕組み・銀行の仕事についての説明、ワークショップとしてミニチュアの社会を体験。

開催日：①29年2月25日 ②29年8月19日

結果：架空の会社で資本金を元手に、新商品の企画やプレゼン、販売などを行い、楽しく学んでもらうことができた。

対象：小学校4年生~中学校3年生

参加人数：23名



家庭教育応援企業の取組をお知らせください

家庭教育を充実させていくためには、家庭や地域だけでなく、企業の取組の推進が益々求められています。各社の素晴らしい取組を発信し、広く紹介して参ります。随時受け付けておりますので、家庭教育のより一層の充実のため、ぜひ、取組の様子を御報告ください。

家庭教育応援企業研修を開催しました

開催企業…【株式会社沖データ福島事業所】

日 時…平成30年1月10日(水) 12:30~13:00

講 師…井間眞理子氏(福島学院大学食物栄養学科講師)

研修テーマ「朝食摂取の必要性」

各学校で、授業参観時等に、PTA対象の研修を実施していますが、仕事の都合で職場に戻らなければいけなかったり、父親の参加率が低かったりと、学校での研修会に参加しにくい場合もあります。そこで企業内での研修会を実施し、より多くの方々に家庭教育の啓発を図っていくことを目指し、本研修を設定しました。

また、株式会社沖データ福島事業所の担当者様との打合せの中で、朝食を摂取してこない従業員が見受けられるという話が出されました。そこで、研修のテーマを「朝食摂取の必要性」とし、望ましい食習慣の啓発を行うこととしました。

講演では、井間氏自身が学校現場で経験した話や栄養学からの具体的な数値などを交え、望ましい食習慣づくりに向けて各家庭で取り組むべきことを、分かりやすく話していただきました。

昼休みの時間帯であるので自由参加でしたが、28名の従業員の方々が研修会に参加されました。参加した方々は、各自、メモをとったり、講演後に質問をしたりと、真剣な表情で講演に聞き入っていました。井間氏の講演内容が、それぞれの家庭で生かされ、子どもたちの食育や従業員の皆様の食生活に有効に働いていくと感じました。



【お役立ち情報】～今回の講演内容～

研修テーマ「朝食摂取の必要性」

- 朝食の欠食率が高いのは、30代男性と20代女性であるというデータがある。
- 朝食欠食者は摂取者と比べて、5倍太りやすくなる。また、朝食欠食は、筋肉が減り体内時計のリズムを大きく乱すことにつながる。
- 朝食摂取により、睡眠中に下がった体温が上昇して、体が目覚める。それにより、消費エネルギーが約2割増え、脂肪が燃焼されやすくなる。また、昼食時の血糖値の急上昇が押さえられる。
- 体内時計の正常化は体質改善、生活習慣の予防につながる。いつもより10分早く起きて、起床後1時間以内に朝食を食べるようなリズムにするとよい。
- 秋田県の学力が全国トップクラスを維持しているのは、朝ご飯を基調とした生活リズムがしっかりしているからという調査結果がある。規則正しい食生活がよい成績につながっている。
- 朝食欠食者が運転シミュレーションを行うと、朝食摂取者と比べ、時速70kmを超えた段階で事故が倍増するという調査結果がある。朝食の欠食により、集中力が下がることが原因であると考えられている。
- 脳は、ご飯やパンなどの炭水化物から得られるブドウ糖しかエネルギーにできない。朝食は脳にエネルギーを補給するという重要な役割がある。

- 毎日、「主食、主菜、副菜、汁物」の献立パターンを守って食事をする事により、自然にバランスよく栄養素を取り入れられるようになる。
- 炭水化物ダイエットを行う人がいるが、タンパク質と脂質だけでは栄養バランスが崩れてしまう。その結果、便秘体質になったり、心筋梗塞のリスクが高まったりするというデータも発表されている。
- 今年度11月に実施した「朝食を見直そう習慣運動」の結果を見ると、朝食摂取率が96.5%であった。週に1回でもいいので、朝食を家族と一緒に食べられるとよい。また、350gの野菜を1日の中で採るようにしたい。350gのうち、1/3は色の濃い野菜が理想である。
- お弁当は、主食が3、主菜が1、副菜が2の割合で作る「3・1・2弁当箱法」がよい。
- 規則正しい生活を送り、十分な睡眠をとることも大切である。遅い時間に夜食をとると、脂肪に変わりやすくなる。また、満腹感が残り、朝食の欠食につながっていく。
- 料理するときは、脳の前頭葉前野がしっかり働いている。学校でも家庭でも、子どもと共同作業することは教育の場面として大切なことである。そのとき、ほめると子どもの脳はさらに生き生きと反応する。
- 朝食は健康を担うキーポイントである。大人も子どもたちも朝食の重要性を見直し、望ましい生活リズムをつけていってほしい。
- 食べることは心を安定させ、豊かな人生を送ることにつながる。食べることをもっと大切にしていきたい。



家庭教育応援企業研修について

家庭教育応援研修を実施して下さる企業を随時募集しています。

各企業の実態に合ったテーマを決めて、それに応じた講師を紹介いたします。講師派遣に係る旅費や謝礼は、福島県教育委員会で負担いたします。また、講師との調整や打合せも福島県教育委員会の担当が行います。

〔研修テーマの例〕

- | | | |
|-------------|---------|------------|
| ○望ましい食習慣 | ○いじめ対策 | ○個性の伸ばし方 |
| ○メディアコントロール | ○非行防止 | ○読書習慣の形成 |
| ○規則正しい生活習慣 | ○運動の重要性 | ○学習意欲の向上 等 |

企業での研修を希望される場合は、県北教育事務所総務社会教育課まで御連絡ください。

報 告 先 福島県教育庁県北教育事務所
問い合わせ 総 務 社 会 教 育 課

TEL : (024) 521-2814
FAX : (024) 521-2870
担 当 (神尾まで)